

埼玉医科大学保健医療学部卒業生アンケート

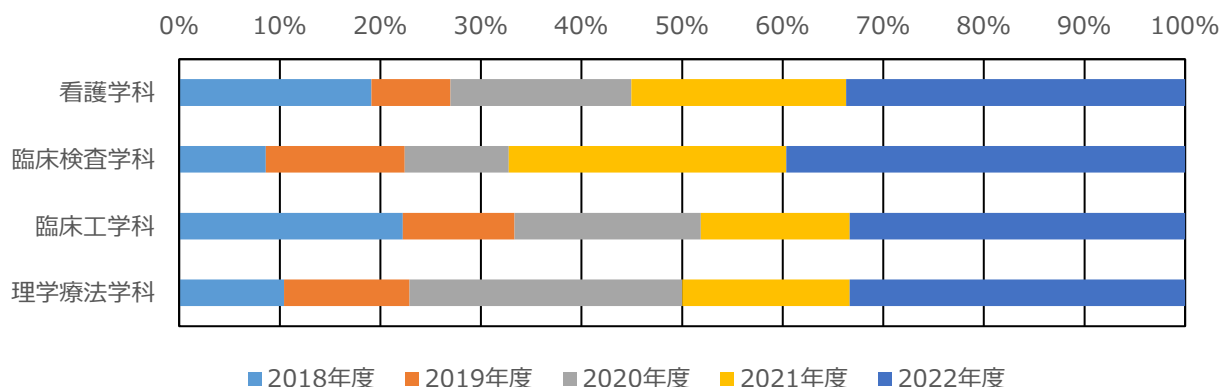
【概要】

目的・趣旨	本学保健医療学部卒業生の卒業後の活動状況、卒業生の立場からの本学保健医療学部教育についての意見を収集、分析し、今後の教育の改善に活かすことを目的とする。
対象者	本学保健医療学部卒業生（2018年度～2022年度）
調査方法	埼玉医科大学保健医療学部同窓会の卒業生名簿に連絡先としてメールアドレスが記載されている者に対して、アンケートへのリンク（Google フォーム）を送付。
調査実施期間	令和6年6月1日(土)～7月31日(水)
回収結果	945名中 249名 回答（回収率 26.3%） （看護学科：89名、臨床検査学科：58名、臨床工学科：54名、理学療法学科：48名）

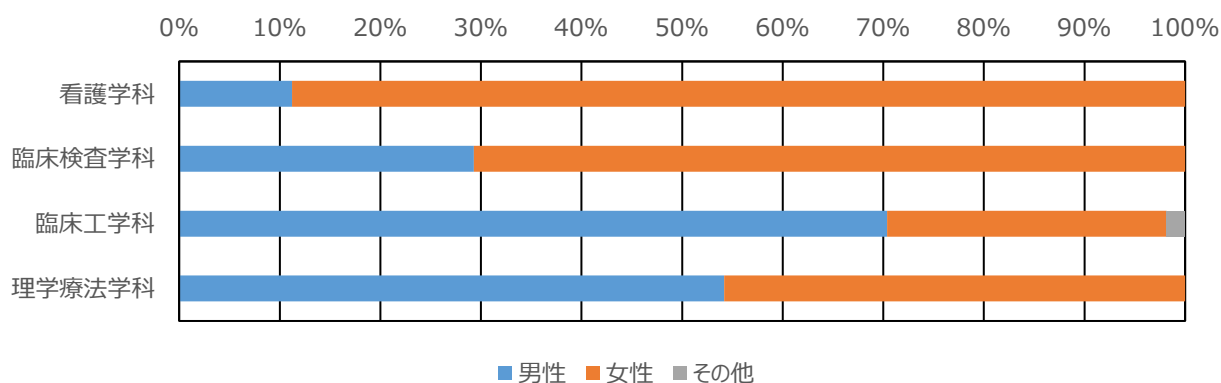
【集計結果】

I. 基本情報

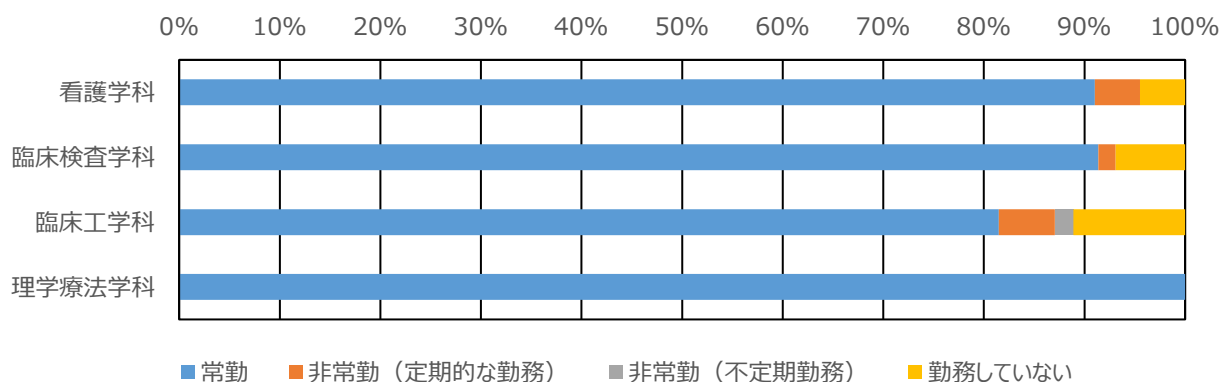
1) 卒業年



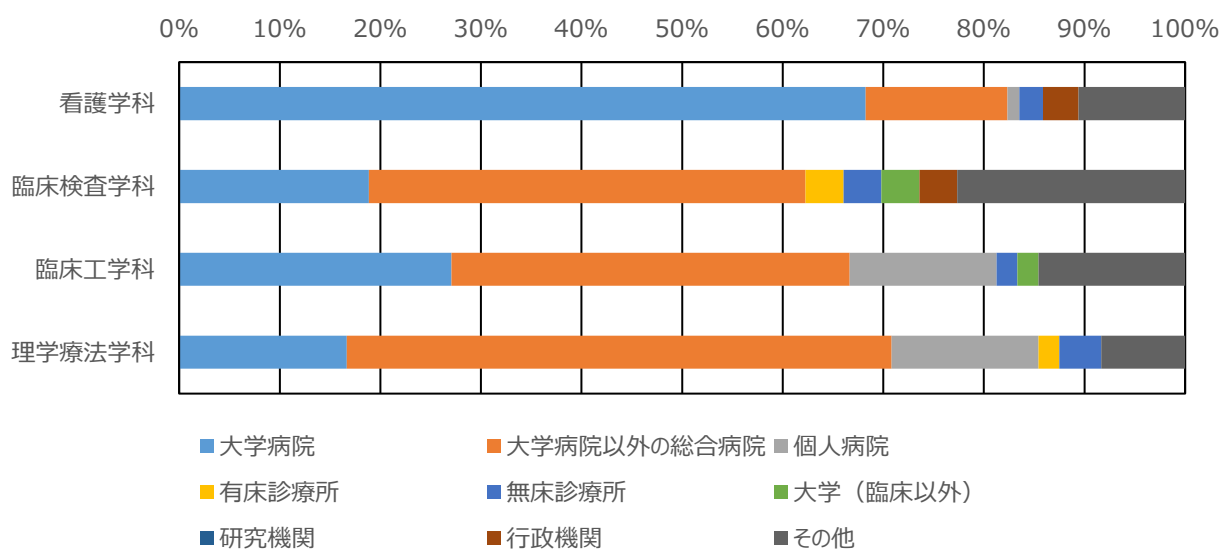
2) 性別



3) 現在の勤務形態



4) 現在の勤務先の種別



・その他

【看護学科】

訪問看護、訪問看護ステーション、有料老人ホーム、社会福祉法人施設、デイサービス、外資製薬会社、企業、健診クリニック

【臨床検査学科】

メーカー、検査センター、研究機関の附属病院、衛生検査所、一般企業、県立病院、総合商社、企業、家電量販店、IQVIA サービスズジャパン合同会社

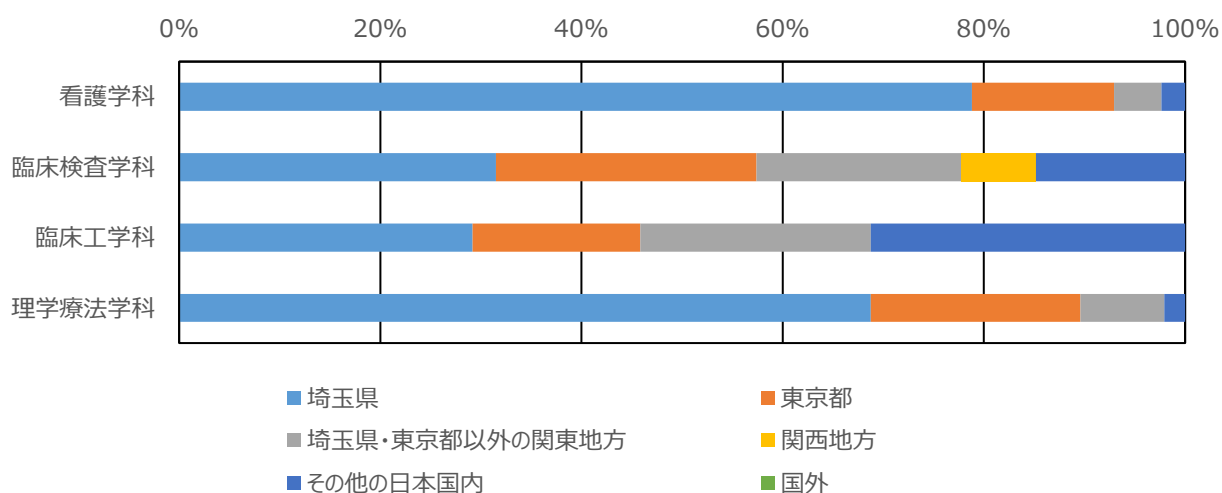
【臨床工学科】

企業、一般企業、電気企業、メーカー、医療機器メーカー

【理学療法学科】

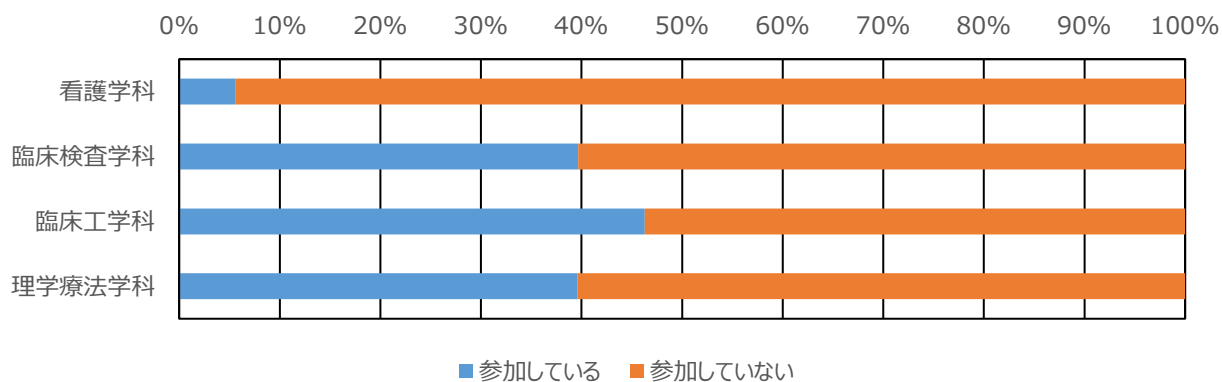
デイサービス、回復期病院、鍼灸整骨院、介護老人保健施設

5) 勤務先の所在地

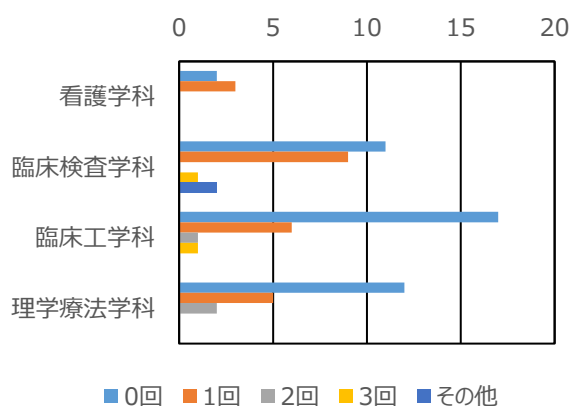


II. 活動状況

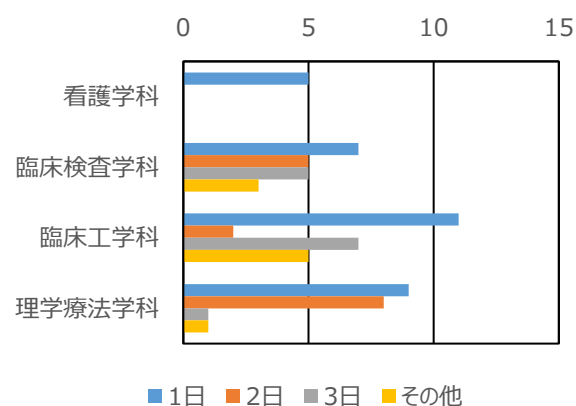
6) 学会に参加していますか



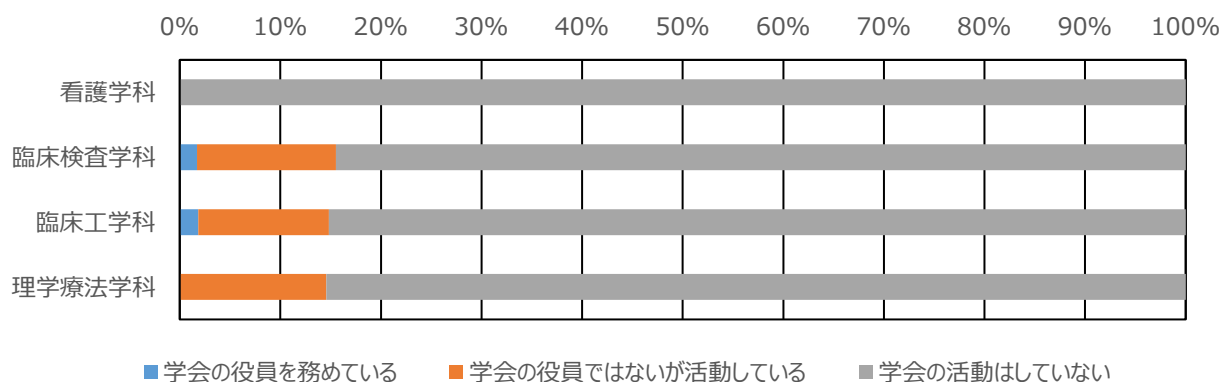
1 年間あたりの学会での発表回数



1 年間あたりの学会への出席日数



7) 学会活動をしていますか



・具体的な活動内容

【看護学科】

【臨床検査学科】

理事長、学会発表、学会参加及び発表、自身の学会発表や同僚の発表のための研究・探究、バイオインフォマティクス分野からミトコンドリア病などの希少疾患のゲノム解析

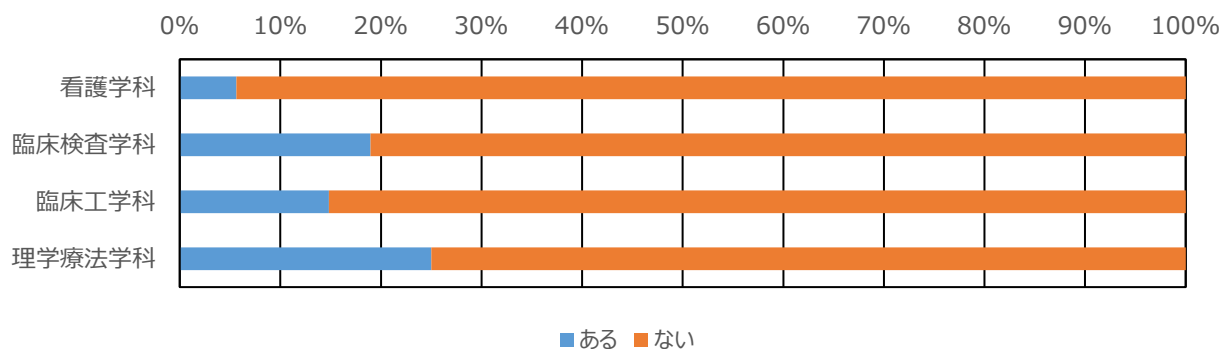
【臨床工学科】

場内スタッフ、神奈川県臨床工学技士会代議員(内、2 委員会所属)、不整脈関連の学会に精力的に活動している、学会発表、生物

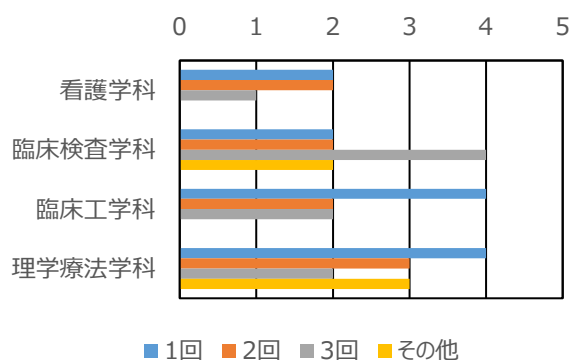
【理学療法学科】

AKA 学会オンライン参加、学会発表、研修会の準備委員、解剖学、準備委員等、人間ドック学科

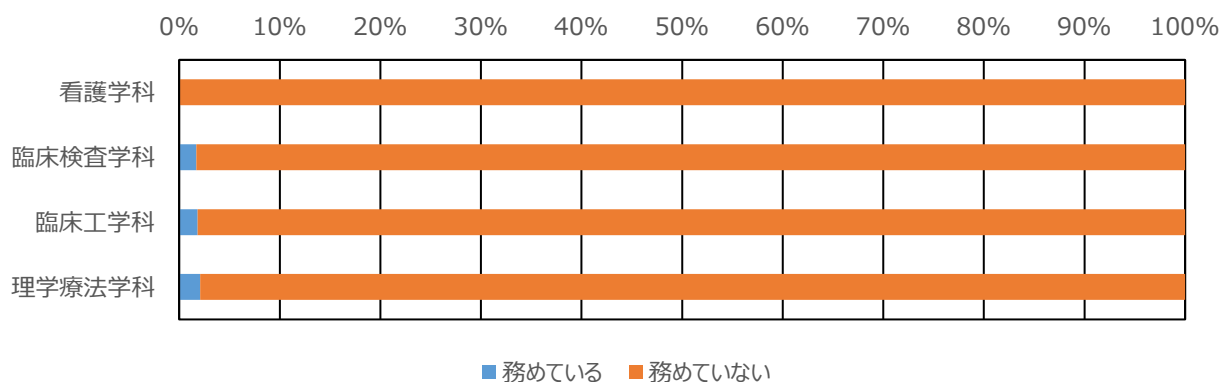
8) 日常業務以外に地域社会とのかかわりがありますか（地域での講演会や市民講座等に参加する等）



地域社会とかかわっている回数（年間）



9) 都道府県・市町村などの行政の委員を務めていますか



・具体的に教えてください

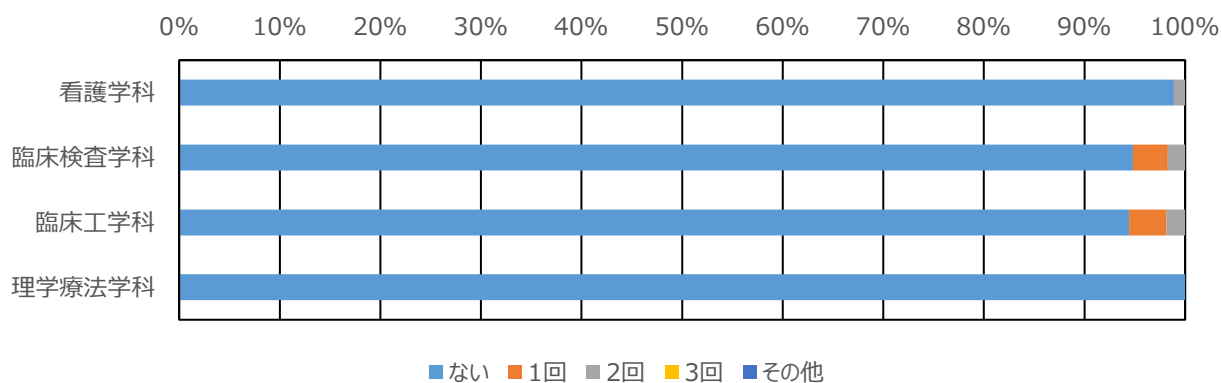
【看護学科】

【臨床検査学科】 衛生課長

【臨床工学科】 災害担当

【理学療法学科】 埼玉県理学療法士会 職能局 業務推進部

10) 大学卒業後、受賞経験はありますか



・具体的に教えてください

【看護学科】

災害支援、医療安全

【臨床検査学科】

警視総監賞、第 46 回日本分子生物学会 サイエンスピッチ優秀発表賞 受賞、臨床微生物学会ファーストチャレンジセッション優秀演題賞、日本医療検査化学会 JACLaS Award II

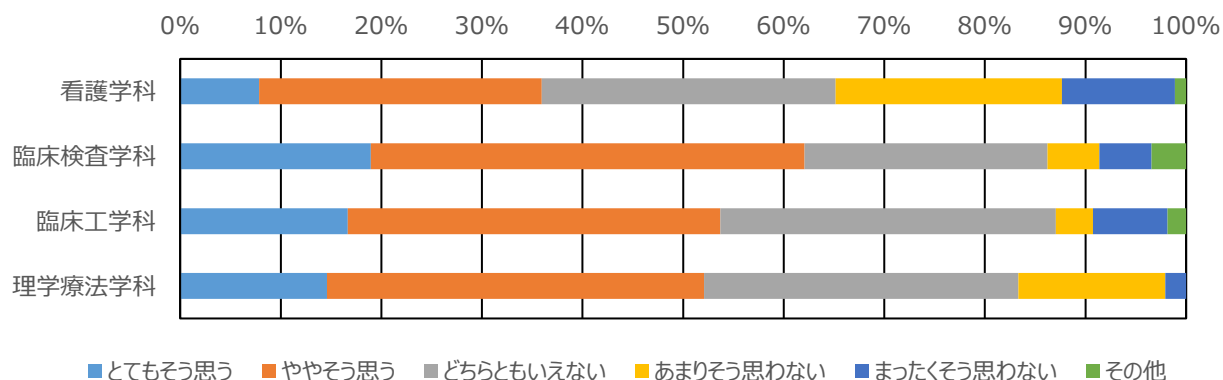
【臨床工学科】

フクダ電子会長優秀賞、臨床工学技士養成施設卒業コンペ最優秀賞、生体医工学会サマースクール相互投票賞、

第 16 回 植込みデバイス関連冬季大会メディカルプロフェッショナル Best abstract 賞選考会 最優秀賞

【理学療法学科】

11) 業務において、卒業後も熱心に取り組み、成果を上げていると自己評価されていますか



・その他

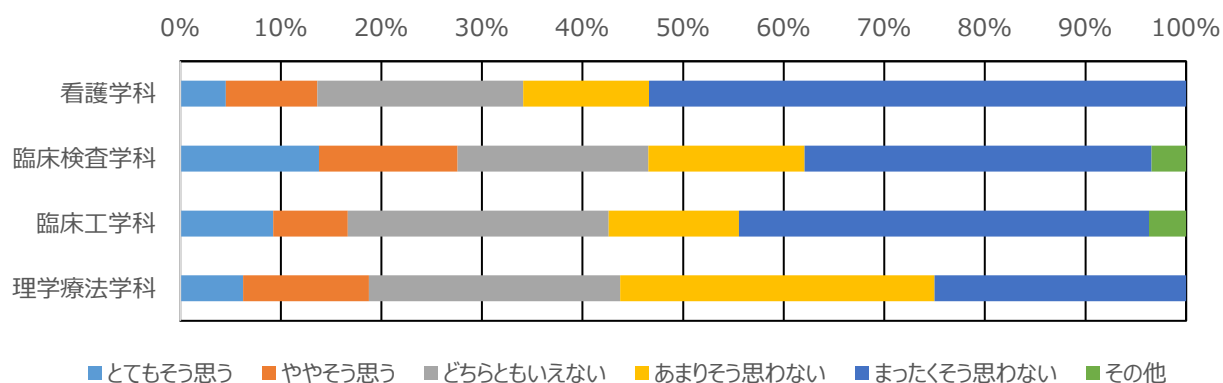
【看護学科】 業務についていない

【臨床検査学科】 大学院に在学中のため検査業務は行っていない、医療従事者ではない

【臨床工学科】 わからない

【理学療法学科】

12) 研究面において、卒業後も熱心に取り組み、成果を上げていると自己評価されていますか



・その他

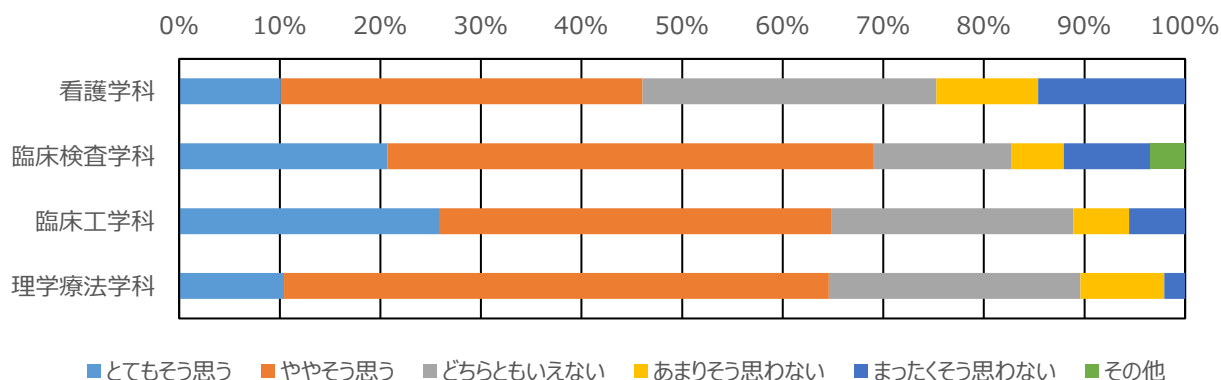
【看護学科】

【臨床検査学科】 研究面に関わっていない、研究していない

【臨床工学科】 わからない、行っていない

【理学療法学科】

13) 現在でも医学・医療技術の勉強を続けており、業務に必要な最新の医学知識を常に得続けていると思いますか



・その他

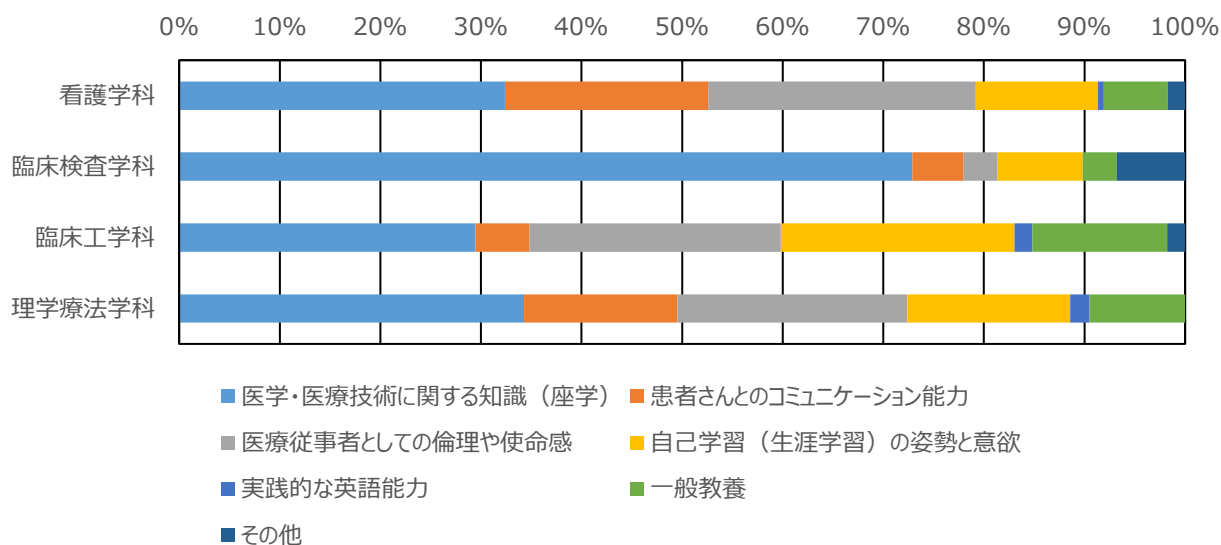
【看護学科】

【臨床検査学科】 医学知識は業務と関係ない、医療知識が必要ない

【臨床工学科】 わからない、行っていない

【理学療法学科】

14) 在学中に十分に身に付けられたと思うものを選択してください（複数回答可）



・その他

【看護学科】 チーム医療における役割、特になし、特にない

【臨床検査学科】 職場での人間関係におけるコミュニケーション能力(臨地実習の経験が大きい:常にメモを取りながら話を聞いていたことや、わからないことや興味のあることは自ら質問し解決する、指示を待つのではなく自ら話しかけ積極的に動くなど) 実習・実技、社会人としての基本(挨拶、言葉遣いなど)、ない

【臨床工学科】 研究力、国家資格

【理学療法学科】

- 15) 今後、本学の卒業生があなたと同じ道を歩むと考えたとき、在学中にどのような教育を受けておけば、卒業後により仕事ができるようになると先輩として思われますか。本学の教育プログラムに対してご提案をお聞かせください。

【看護学科】
soap を使った記録の書き方、情報収集の方法、社会人マナー、実践に近い形の実習
アセスメントする能力の育成
アセスメント能力を身につける
オペに関する知識を少しでも多く身につけておく
一年目の心構えについて
お金の管理の仕方、投資とか貯蓄について教えて欲しい
カルテから必要な情報を取ること
キャリア教育
キャリア講座みたいなものがあっても良かったと思います。様々な先輩を講師として招くことにより、将来のビジョンを事前に描いておくことが出来れば実際の臨床に出てからのギャップは少ないと思います。実際に周りの 10 人中 8 人は看護師としてのキャリアに悩んでいる人が多いです。
このままで良いと思う
コミュニケーション能力
コミュニケーション能力
コロナで実習なかったので実際働く場所で実習することは病院の雰囲気が掴めるので大事だと思います
もっと技術を丁寧に詳しく学ぶ 実際の臨床の話を聴く
より臨床に近い環境で学ぶことができると、臨床に出てから困ることが少ないと考える。また、縦のつながりを作れると相談がしやすく、より良い仕事をするに繋がると考える。
医師や上司とのコミュニケーション方法
解剖学
患者さまやご家族、関係職種などに対する接遇やマナーに関する教育
患者とのコミュニケーションの仕方。主に実習で学べるものだと思う。
患者とのコミュニケーション能力
多業のこなしかた
看護技術
頑張れば大丈夫
記録の書き方について
急変時対応とか
強いメンタル

教育プログラムはそのままでもいいと思う
軍隊みたいな実習はやめたほうがいいと思う。きちんと睡眠時間を取れて、健康的に実習が行えるといいと思う。過激な指導は、看護業界に対する恐怖心を与えと思う。
他職種間のコミュニケーションなど、もっと実践的に勉強したかった。ベッドシーツ交換を一生懸命やっていたが、看護の実際には必要なかった。基礎的に大事ということなんだろうが、もっと現場で大事なことを学びたかった。
現場で使う技術を実践的に学ぶ
現場で働いている人たちの交流をもっと増やすべき
現場とのギャップ埋め
現場の実情について
効率よく業務をこなす方法
効率よく働く方法
講義を頑張る
座学だけでなく、実践的な技術演習を受ける。
再試の基準が厳しすぎだと思います。
採血や静脈注射用点滴ラインの取り方など実践的な教育があると卒業後生かせやすいと思う
埼玉医科大学に就職する人が多いと思うので、各病棟の説明がもっとほしかったです。特に実習で行っていない場所は分からないので知りました。
自分自身のメンタルやセルフケアの仕方を学んでおくこと。
実習
実習だけでなく課外学習とかも行ってみる
実習ですぐに使える知識や自己学習のやり方、アセスメントの仕方についての教育
実習でのアセスメント能力
実習の内容がもっと実践的なものになればいい
実践力・応用力を高めるような演習をもっと取り入れるべきだと思います。
実用的な英語能力
社会人としてのマナー、言葉遣い
授業をきちんと聞く
職場での優先順位などの付け方
進学したい時には早くから勉強すること！
人としての関わり方
人間としてのマナーなど
卒業生との交流の機会、勤務の実際 在学中に卒業後のビジョンを見つけることや現場の実際を知る機会があれば対処法を考える癖が身につけられると思うから。

他学部、他学科との交流があるといいなと思いました
他職種とのコミュニケーション能力
点滴の交換、パソコンでの記録
点滴の作り方
点滴の作り方 扱い方
点滴の組み方など実際入ってから困った
勉強の習慣化
保健師とはどんな役割でどんな仕事をしているのか、保健師の魅力を知ること。
豊富な知識・技術を身につけられるような教育
薬剤の知識、注射方法、採血のやり方
倫理観、コミュニケーション能力を獲得する。
倫理大事。
臨機応変な対応力
臨床を意識したロールプレイ

【臨床検査学科】
名簿の発行
自分の代は謝恩会が中止されたので世話になった教授・先生にはなるべく出席してほしい
色々な病院の話を聞きたい
先生方と話す機会
他施設との情報交換
情報交換・交流
埼玉医科大学病院で使用されている検査機器の紹介など。自分の県内に大学病院が少なく、あまりそういった情報が入ってこないため。
連絡の取りやすさ
特に何も求めない
情報交換
様々な分野で働いている検査技師の方を呼んでいただくと在学生の視野が広がるのではないのでしょうか。
情報交換がしっかり出来るような仕組みづくり。ただ会って懐かしむだけでは行く意味がないので、行くことで仕事や考え方にプラスになると良い。
他の人の近況の報告を聞き、それを今後の自分のキャリアに活かしたい。
情報共有
コミュニケーションをとれるフリータイム

卒業生の現在の仕事についてなどを知りたい
基礎と臨床の意見を交換できる場を作るべき
各々の病院ではどのような形態で業務を行っているのかの意見交換をしたい
病院の情報共有
情報交換など
他病院との情報共有
各々の就業状況と研究活動の情報交換
情報交換など
情報交換
留年生を何年度に呼ぶのか
先生方の参加の有無
お世話になった先生方と友人とゆっくり話せればいいなと思います。
同期交流
人脈
現在の状況の共有
旧友との再会
コミュニケーションの場
開催場所の確保、ある程度の資金援助
同級生と話したい。
在学時の行事等の振り返り
交流する機会を増やすこと
みんなで自分の病院のことを話したい
意見交換
他施設の運用を知りたい、自施設のおかしいところに気付きたい

【臨床工学科】
ビジネススキル
Windows を扱う知識
実践的なこと
治療する相手への接遇、対話
ビジネスマナー
取捨選択の仕方。
医療人としてのあるべき姿。患者ファーストの精神。

とても良い教育プログラムだと思っているので、しっかり習得できれば卒業後により仕事ができるようになると思います。
工学的な知識やレベルの高い研究活動
より実践に近い臨床現場の見学経験を増やす
会話がしっかりできるようにする
学校で学ぶことがどれだけ基本的な知識なのかを就職し実際に働いてみて身に染みて感じた。 働く前にわかっていて当たり前の事を学んでいるという危機感をもって学生の時に勉強しておけば良かったと後悔しています。 なので教育の変革以前に、学生の勉学に取り組む自主性を伸ばすのが大事だと思いました。
ブラインド穿刺の練習、エコーによる血管の観察等もうちょっと詳しく知りたかった
実習
臨床に直接役立つ知識
患者に対してのコミュニケーション能力と座学の知識がどれほど患者さんへの利益になるか
今のままで大丈夫だと思います。校内実習、病院実習共にとても充実しています
積極的に学生を引っ張り主体性のある行動をすること。
教養
人としてのコミュニケーションや、社会的常識、マナーの教育があるといいと思います
英語の授業を増やすべきだと感じた。
より臨床に近い講義、実習
国試以上の実臨床に基づいた教育、IT スキル
コミュニケーション
他学科との交流や実習先での担当者、患者さんなど、初めて話す人とのコミュニケーションの取り方を学び、慣らしていくと良いと思う。
自己研鑽をしっかりとやり、各々が責任を持ってやり遂げられる環境が必要だと感じます。 研究室などで如何にして研究や国試勉強をしていくかで変わっていくののだと考えます。
機械の点検ができるようになる
心臓カテーテル検査について、スワングアンツカテーテルで分かることや狭窄部位の評価方法、OCT、IVUS の見方などの詳細がわかるのがあっていいと思います。
どれだけ患者さんに必要なのか
論文を読む、書く力
実務
施設ごとのルールを受け入れる
在学中の勉学は社会に出てから必ず生きる
勉強しておく
実習を真剣に取り組むこと

医学知識(疾患等)がもっと必要
基礎的な面を暗記ではなく具体的イメージをした状態で学び正確な知識の確立をするべきだった。
在学中に取れる専門資格やその資格が何の分野の業務でどう役立つのかなどの情報がもっとあったら良かったと思いますまた、そういった資格取得をしたい人向けの教育プログラムがあったら良いと思います。
臨床において、最低限の内容の講義しか行っていないので、より実臨床に近いことを学ぶことができればと思います。
コミュニケーションスキル
研究開発できる環境をつくってほしい

【理学療法学科】
英語論文が読めるように、日常の簡単な英会話程度はできるように、英語教育の充実化
臨床経験を増やす
地域連携、介護保険サービスの具体的な使用方法、社会人マナー
社会人としてのマナー・エチケット講習
理学療法士においても IT や ICT についての知識は重要であると思います。同僚の理学療法士を見ている、パソコンを使用した業務や知識は不十分な方も散見されます。基本的なパソコンアプリの使い方から IT 技術の仕組みなどの教養があるとスムーズに電子カルテシステムや診療外業務の実施が可能かと感じます。
基礎的な解剖や内科的な要素。 患者様との関わり方、折れない心。
コミュニケーション能力
実習先での経験が進路を決定する大きな要素の一つとなると思う。その為、実習先については運要素が大きいのが現状だが、可能な限り学生と先生で話し合った上で双方が合意できる形をとれるようになると思う。
症例を用いて実践的な演習を取り入れた方が良いと考える
介助
実際に現場で働いてみないと、なんともいえません。基本的なことは、在学中に勉強できました
基礎的な手話を知りたいと思いました。 筆談でも会話は可能ですが、手話で少しでも通じあえる方が円滑に業務も遂行できるかと思います。
勉強の仕方や、病院で働く以外のロールモデル
卒業後も学習できるツールの紹介。実践的な実技演習。
インプットだけでなく、与えられた情報から考察する練習、相手に伝えるなどのアウトプット
リハビリテーションにおける、臨床と研究の側面を見据えた学習を行うことが重要であると思う。
整形外科や神経系の分野の理学療法も大切だと思いますが、がんや小児、ウイメンズヘルスなど様々な分野の理学療法についても学生のうちに学べると、将来どんな分野の理学療法に携わりたいか考えるときに選択肢の幅が広がるので良いと思いました。
臨床

実践的に SOAP の考え方を学ぶ機会の増加
医学部もあるため解剖学の授業はとてもタメになると思う。
実技とコミュニケーション
もっと実践的な(正直整形の手技等は超高齢者に対して使えなかったりします)現場の事を学びたかった
コミュニケーション能力
プログラム内容の立案や、触診、触り方など
手技や物理療法で使用する器具の使用方法などを学べる科目を増やした方が、現場に出た時に役に立つと考えます。
リハビリのプログラム立案、原因の特定
就職したら業務に追われて勉強の時間が無くなるので、忘れることを見越してしっかりやっておいた方がいいと思います
検査測定など、参考書通りには出来ない事が多いため、臨床で行われている方法を指導するべき。
挨拶
実技系の授業（移乗や歩行練習）や患者との関わり方などを重点的に行っていくべきだと思った。
治療に対してのアプローチ方法、効果判定の過程等
実践に近い実技講座をしっかりと身につける
国家試験のための講義と臨床に応用できる講義に分けて実施
評価、アプローチ、評価で変化の有無を確認して次に繋げようとする考え方と評価をする意味を理解していること
接遇や基礎教育は学生のうちに身につけておくとひとり立ちした時に役立ちます。
学ぶ姿勢
他の分野に興味を持つか知っておくこと
何かわからないことができた時の勉強の仕方、触診することに慣れる、症例発表の経験を積む
しっかりとした解剖知識の理解